

2019年度 事業報告

1 総 会 5月26日(日)

会 場 東京子ども図書館ホール

会員数 758名

参加者 49名 委任状338名

2 会員動向 (2020年3月1日現在)

会 員 758名

入 会 51名

退 会 51名

購読会員(団体) 151件(入会3件・退会3件)

3 機関誌発行

66巻4号から67巻3号

組織部(組織部報告参照)

出版部(出版部報告参照)

全国学習会(事業部報告参照)

ミニ学習会(事業部報告参照)

「子どもと図書館 今、世界は―各国の取組から」の報告会

(事業部報告参照)

9 調査・研究助成

1件

10 関係団体・機関との連携・協力

大阪国際児童文学館

親子読書地域文庫全国連絡会

学校図書館を考える全国連絡会

学校図書館問題研究会

全国紙芝居まつり

NPO全日本語りネットワーク

公益財団法人東京子ども図書館

東京の図書館をもっとよくする会
図書館問題研究会

日本親子読書センター

日本子どもの本研究会

日本図書館協会

11 運営委員会の開催

定例会 12回

■運営委員会報告

定例の運営委員会は毎月第一水曜日、新橋の児図研事務所で
行った。各部の活動についてはそれぞれの報告をご覧ください。

1 講座助成についての審査

2 ミニ学習会等の事業について検討

3 出版物についての検討

4 調査・研究助成の募集

5 ホームページの内容検討

6 関係団体・機関への参加、後援申請への許諾

7 出版物の書影掲載の許諾について

8 次年度予算案、総会について検討

(報告 佐川 さがわ 祐子 さちこ)

■組織部報告

1 支部活動助成

・支部報を発行している福島・埼玉・東京・神奈川・愛知・京都・
近畿・広島・高知・香川の10支部に1万6千円、静岡・山梨・
滋賀・福岡の4支部に1万円の助成を行った。

・総会の支部代表出席者への交通費助成7名(山梨・神奈川・
滋賀・近畿・広島・香川・福岡)

2 講座助成

・Aコース(10万円)：0件

3 広報、PR活動について

・Bコース(5万円)：4件 近畿支部・高知支部・山梨支部・「寮美千子氏講演会」実行委員会(有志)
 ・ホームページのリニューアル作業完了(8月末に全ての情報を更新)

(報告 汐崎 順子)

■ 出版部報告

1 既刊書の増刷

『子どもに物語の読み聞かせを 読み聞かせに向く260話のリスト』(尾野三千代/編著)について、2020年2月に6刷、500部の増刷を行った。

(2014年11月初版、累計5000部)

2 出版企画の編集作業

『子どもに定番絵本の読み聞かせを(仮題)』(尾野三千代/編著)、『おはなし会で楽しむ手ぶくろ人形(仮題)』(保育と人形の会/編著)の2冊について、今年中の出版を目指して、編集作業を行っている。

3 次期出版物の検討

新規書下ろしの企画に関しては、出版部以外に執筆編集作業を引き受けていただく支部や協力者が必要である。

見込研らしい出版物の提案や講演会・学習会の記録のまとめ等の新企画がある方はご連絡ください。

(報告 かねたか 恵美子)

■ 事業部報告

1 「子どもと図書館 今、世界は—各国の取組から」の報告会

(東京子ども図書館との共催)

講師：島 弘氏

(日本図書館協会児童青少年委員会委員長) 他

日程：2019年6月30日(日)

会場：東京子ども図書館

参加者：39名

2 ミニ学習会

「赤羽末吉の人生と絵本」

講師：赤羽 茂乃氏(赤羽末吉研究家)

日程：2019年11月16日(土)

会場：きゅりあん(品川区立総合区民会館)

参加者：59名

3 全国学習会

香川学習会

テーマ：「未来へつなぐ子どもと本」2020香川

日程：2020年3月1日(日)・2日(月)

会場：サンポートホール高松

■ 調査・研究助成

新型コロナウイルス感染予防のため、中止
 (報告 渡辺 尚子)

■ 調査・研究助成

2019年度の研究助成の実績は、1件だった。家庭文庫の研究「子どもの読書、読書行動…文庫の活動を中心に」井元有里氏、汐崎順子氏、須賀千絵氏に対し、助成を行った。

2020年度の研究助成については、2件の助成枠に対して申請は、0件だった。

「児童図書館に関わる研究」を行うことは本会の活動趣旨に明記されており、研究助成事業は継続すべき事業である。来年度以降も会員への周知、研究活動に携わる会員の状況の把握に努め、情報の提供を行うなど、より積極的にPRしていく。

(報告 いわむら 陽恵)